

優秀な人を 採るための 魔法の質問7選

～学歴じゃなく、ここを見ろ～



優秀な人を採用する 魔法の質問7選

今回は、優秀な人材を見抜くために使っている「魔法の質問」を7つ紹介します。

人不足が叫ばれる中、私の所にも毎日のようにどうしたら優秀な人が採用できるか相談がきます。多くの人がリクルート手法を知りたがりですが、実はその前に決めておくべきことがあります。それは「どんな人を取りたいか」です。

経営者は声をそろえて「優秀な人材が欲しい」と言いますが、さて、優秀な人材とはどんな人材でしょうか？ 高い販売スキルや整備スキルを持つている事でしょうか？ 確かにSSの現場では即戦力が必要です。現場も即戦力をくださいと言ってくるでしょう。ですが、営業や整備のスキルは入社してもらってから教えれば何とかなります。

それ以上の大切なのは「資質」です。資質の多くは彼や彼女がそれまでのキャリアの中で築いてきたものであるため、鍛え直すのには相当の時間が必要となります。

この資質に基づいた「優秀な人材」の定義ができていなかったことで、現場でミスマッチが発生し、せつ

かく時間とお金をかけて採用した人材が短期間で辞めてしまうという事例を山ほど見てきました。そこで、今日は長く活躍してくれる人材7つの資質とそれを見抜く7つの魔法の質問をご紹介します。

優秀な人材が持つ 7つの資質

①指示待ちではない…箸の上げ下げまで指導している暇はないため、一定程度教えた後は、自分で考え、自分で行動できる仕事のやり方を持つている必要があります。

②ある能力に秀でている…何でもできるオールラウンダーよりは、多少癖があっても、ここだけは負けませんという分野を持つている人材が貴重です。

③共感力が高い…単独でできる仕事はSSにはありません。チームで動けるかを見極めておく必要があります。

④失敗しても立ち上がれる(レジリエンスが高い)…SSでモノを売りたいければ、心なんて折れてナンボ、へこたれてナンボです。折れないしなやかな心を持った人が向いています。

⑤機転が利く…マニュアル通りに

言葉を受け止め「ありがとうございます。しかし、まだ至らない点も多いので、これからもっと成長していきたいです」などと答えられる人は、素直さや謙虚さを持つていると言えるでしょう。一方で、当然だという態度を取ったり、逆に過度に卑下したりする人は、注意が必要です。

まとめ

優秀な人材の確保は今後のSS経営の存亡にかかわります。今回ご紹介した7つの視点と「魔法の質問」を活用することで、自社の成長に本当に貢献してくれる優秀な人材を見抜くことができるはずです。ぜひ実践してみてください。

(株)プレジデントビジョン
石原 尚幸
代表取締役

いしはら・なおゆき。1973年生まれ、愛知県名古屋出身。96年、上智大学経済学部経営学科卒業後、出光興産に入社。京都支店、関東第二支店を経て05年本社・販売部企画課に配属。08年に独立起業し、2012年法人化した。

優秀な人を見極める ための魔法の質問7選

これらの資質を見抜くための「魔法の質問」を7つ紹介します。

①指示待ちではない「普通は面接官が質問をするものですが、あなたがあなたが面接官ならどのような質問をしますか？そしてその質問に対してどのように答えますか？」と質問してみてください。自分で質問を考え、自分で答えるというプロセスを通じて、自ら考え、行動できる素養があるかどうかを見極めることができます。

②ある能力「履歴書に書かれた資

格やスキルだけでなく「あなたがこれまで生きてきた中で、周りの人が驚くほど熱中したこと、誰にも負けないくらい情熱を注いだことは何ですか？」突き抜けた個性や才能を感じさせます。

③共感力「共感力を見るには、質問より所作を見ます。こちら(面接官)が笑った時に一緒に笑顔になれる人は共感力が高いでしょうし、仏頂面の人は少し共感力が弱い可能性があります。他にも、わざとゆつくり話したときにこちらのペースでゆつくり話すタイプだと分かります。

④レジリエンス「成功体験の話は準備していても、失敗談はなかなか出てこないものです。そこで「これまでの人生で、一番失敗した経験について、差し支えない範囲で教えてください。そして、そこから何を学びましたか？」と質問してみてください。学生であれば恋愛の失敗談でも構いません。その後の行動や学びを聞くことで、失敗から立ち直る力や成長力を見極めることができます。

⑤機転「〇〇について、3つ理由を挙げてください」という質問は、頭の回転の速さを見るのに

有効です。マジックナンバー3と言われるように、物事を3つにまとめるのは意外と難しいものです。例えば「動物園にいる動物を3種類挙げてください」という質問に対して、同じ種類の動物ばかり挙げたり、全く違うレイヤーの話をしたりする場合は、論理的な思考力や整理能力に課題があるかもしれません。3つの要素を異なる視点から、かつ論理的に説明できるかどうかで、頭の回転の速さを見極めます。

⑥段取り力「今、あなたはスマホもお金も持っています。3日後にフランスまで行くにはどうしますか？」など、やや突拍子のな質問をわざとします。すぐに「できません」と答えるのではなく、「まずはお金がなくても行ける方法を探します」「お金を貸してくれる人を探します」「ヒッチハイクを試みます」など、複数の選択肢を考え、それをどのように実行していくかの道筋を語れるかどうかで、段取り力を見極めることができます。

⑦素直さ・謙虚さ「面接の最後に「〇〇さんは本当に優秀ですね！」と褒めてみてください。その時の反応を見ます。こちらの